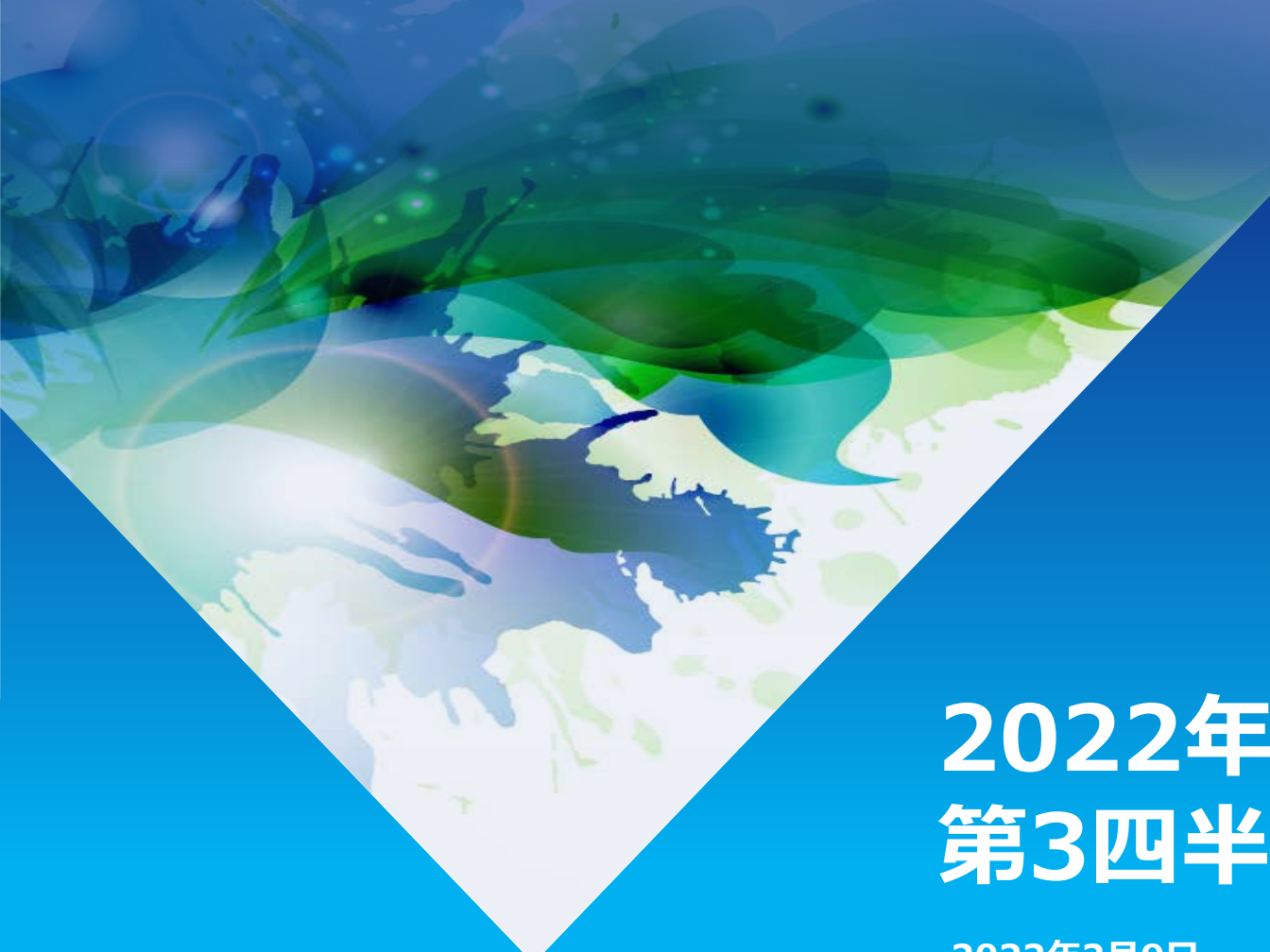




2022年3月期 第3四半期決算説明

2022年2月9日

 **ダイダン**株式会社

目次

連結業績サマリー

第3四半期決算ハイライト

通期業績予想

＜参考＞ DATA FILE



**2022年3月期
第3四半期決算**

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

（単位：百万円）

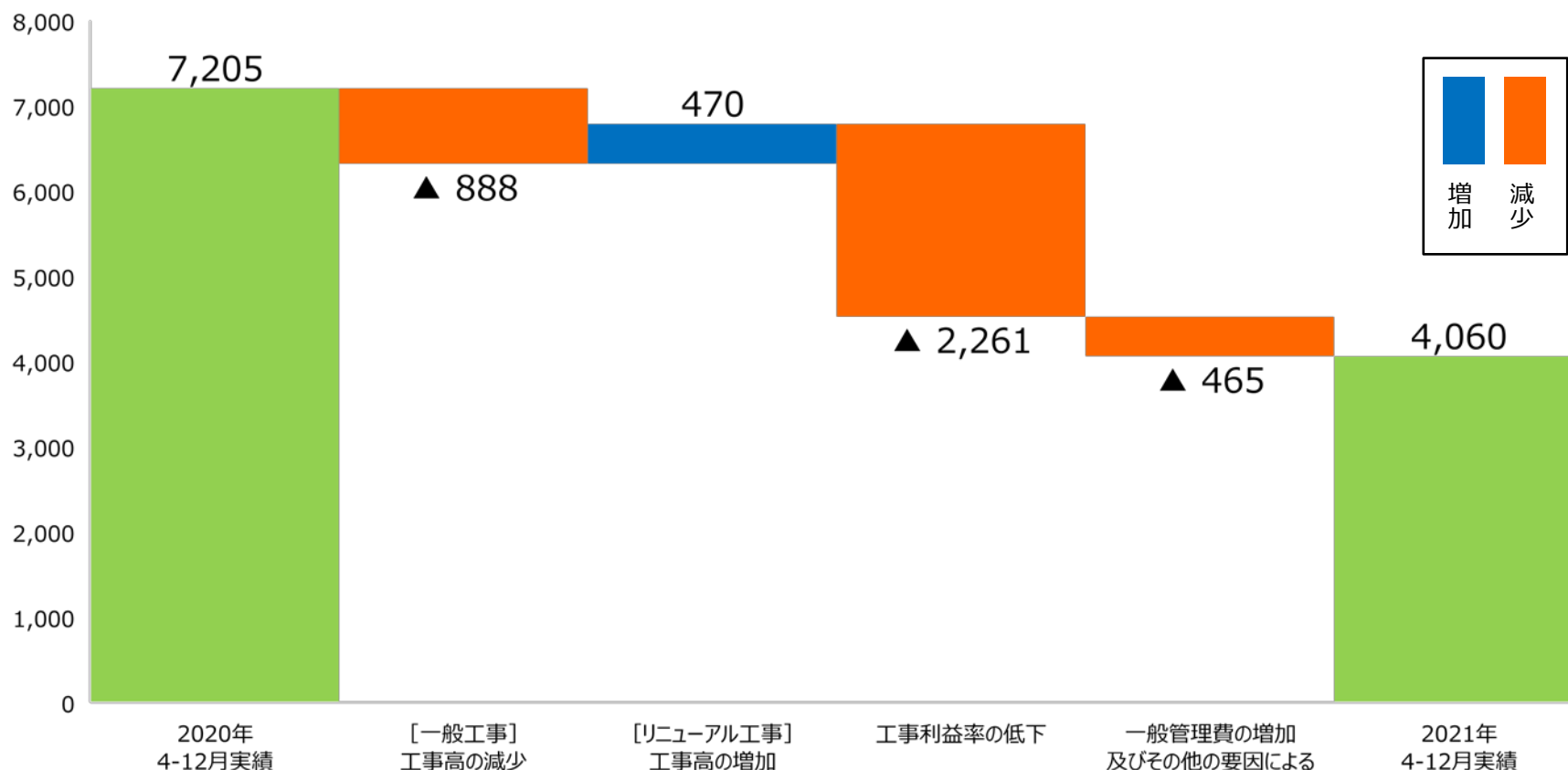
	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
期首繰越工事高	124,228	143,043	18,814	15.1%	
受注工事高	122,561	150,118	27,556	22.5%	大型工事を中心にコロナ禍以前の水準に回復
完成工事高	111,099	108,257	▲2,841	▲2.6%	前期末からの繰越工事高は豊富だが、大型工事の進捗が本格化していないことにより当期に出来高あがらず微減
完成工事総利益	16,401	13,562	▲2,838	▲17.3%	完成工事総利益率の低下
完成工事総利益率(%)	14.8%	12.5%	▲2.2p		
営業利益	7,205	4,060	▲3,145	▲43.6%	完成工事総利益の減少
営業利益率(%)	6.5%	3.8%	▲2.7p		
経常利益	7,593	4,399	▲3,193	▲42.1%	営業利益の減少
経常利益率(%)	6.8%	4.1%	▲2.8p		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,190	3,059	▲2,131	▲41.1%	
四半期純利益率(%)	4.7%	2.8%	▲1.8p		

事業環境

- 受注工事高は、前期は新型コロナウイルス感染症の影響により、リニューアル工事全体が減少しましたが、当期は大型工事を中心にコロナ禍以前の受注水準に回復し増加となりました。
- 完成工事高は、大型工事の進捗が本格化しないことにより微減となりました。また、受注競争の激化や資機材価格の高騰により利益率も低下し、完成工事総利益も減少となりました。
- 完成工事総利益の減少を受け、損益面は減益となりました。

連結営業利益減少の内訳

(単位：百万円)



- 一般工事は、大型工事の進捗が本格化しないことによる出来高の減少に伴い利益も減少、ただし、リニューアル工事は前期のコロナ禍からの回復により、特に工場の大・中規模案件の出来高が増加し利益も増加となりました。
- 完成工事利益率は、受注競争の激化や資機材価格の高騰などにより低下し、減益となりました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因等・特記事項
受注工事高	電気工事	20,165	18,347	▲1,817	▲9.0%	
	空調工事	71,661	98,247	26,586	37.1%	オフィス・病院・産業施設案件の受注増
	水道衛生工事	30,735	33,523	2,787	9.1%	
	合計	122,561	150,118	27,556	22.5%	増加要因は4ページの通り
完成工事高	電気工事	16,646	16,621	▲25	▲0.2%	
	空調工事	67,782	64,967	▲2,814	▲4.2%	
	水道衛生工事	26,670	26,668	▲1	▲0.0%	
	合計	111,099	108,257	▲2,841	▲2.6%	減少要因は4ページの通り
繰越工事高	電気工事	23,032	23,611	579	2.5%	
	空調工事	81,464	119,217	37,753	46.3%	
	水道衛生工事	31,194	42,074	10,880	34.9%	
	合計	135,691	184,904	49,212	36.3%	前期末の繰越工事増加、当期の受注工事増加

- 4ページに記載のとおり、受注工事高は増加しましたが完成工事高は微減となりました。
- 受注工事高は、大型工事案件を中心に回復し、特にオフィス・病院・産業施設案件の受注が増加しました。
- 前期末の繰越工事の増加に加え、当期の受注工事の増加、ならびに完成工事高の減少により繰越工事高は大きく増加しました。

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	74,837	75,172	334	0.4%	利益剰余金が有価証券の評価減を上回ったことによる
総資産	132,210	129,582	▲2,628	▲2.0%	現金及び預金の減少による
1株当たり純資産（BPS）	3,491.84円	3,506.67円	14.83円	0.4%	上記、「純資産」の増加の通り
株価純資産倍率（PBR）	0.85倍	0.66倍	▲0.19倍	—	（参考）2021年 3月 株価終値：2,963円 2021年12月 株価終値：2,298円
自己資本比率	56.4%	57.9%	1.4p	—	

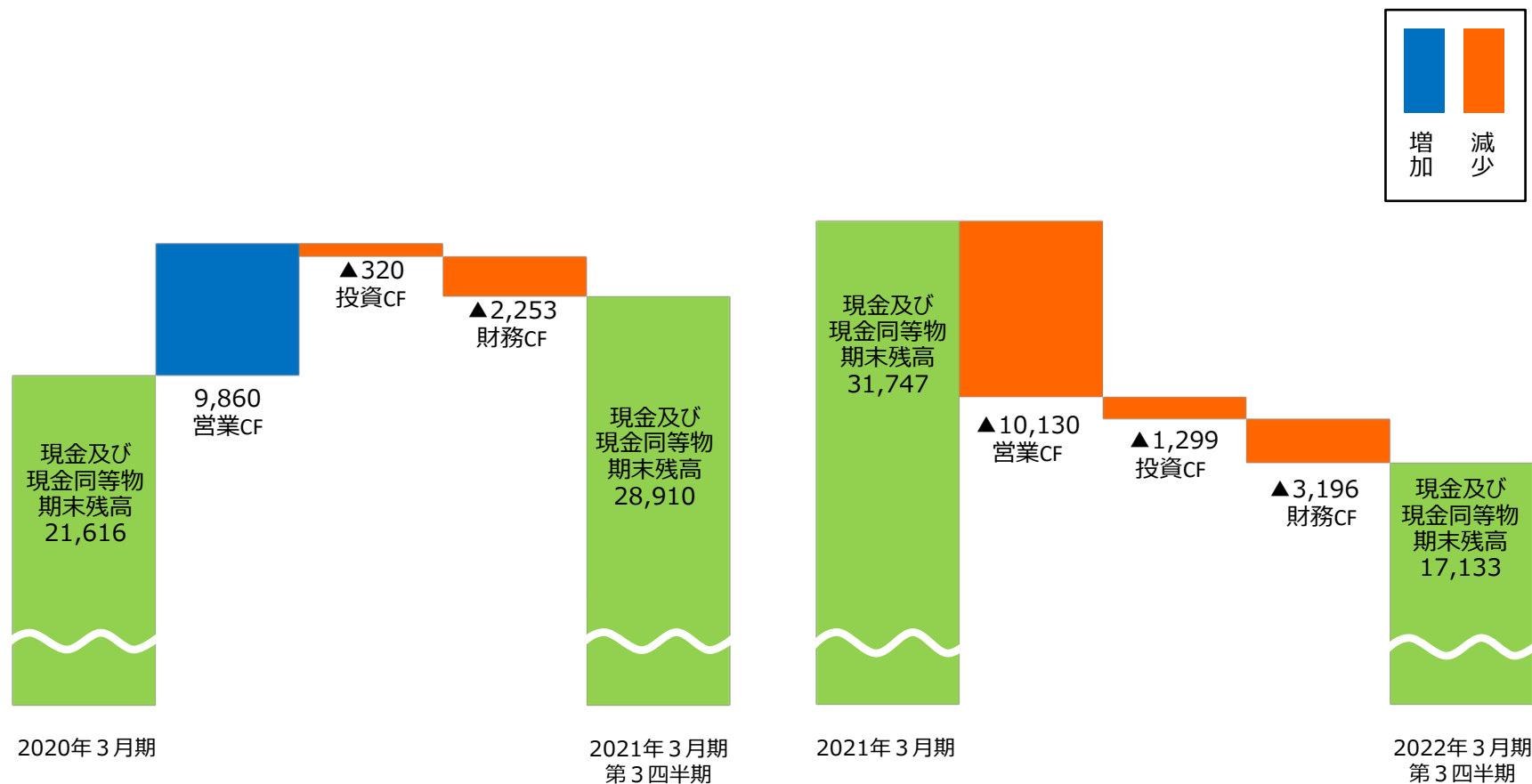
連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要〔ご参考：決算短信では省略しております。〕

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	9,860	▲10,130	▲19,991	—	四半期純利益が前期に比べて減少、及び売上債権の増加等の資金の減少要因が資金の増加要因を上回ったことによる
投資活動によるCF	▲320	▲1,299	▲978	—	北海道支店・北陸支店の建替、ベンチャー企業への出資
財務活動によるCF	▲2,253	▲3,196	▲943	—	配当金の支払
現金及び現金同等物の期首残高	21,616	31,747	10,131	46.9%	
現金及び現金同等物の増減額	7,294	▲14,614	▲21,908	—	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	28,910	17,133	▲11,777	▲40.7%	

キャッシュ・フロー前期比較（現金及び現金同等物期末残高の推移）

（単位：百万円）





**2022年3月期
第3四半期決算**

第3四半期決算 ハイライト

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期	前年同期比		主な増減要因・特記事項
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率	
リニューアル工事	58,179	19,574	77,754	72,060	13,880	23.9%	主に工場の大・中規模案件の受注による
リニューアル比率(%)	47.5%	36.3%	44.0%	48.0%			
大規模・中規模の改修工事	33,868	11,766	45,635	46,859	12,990	38.4%	
小規模の改修工事	24,310	7,808	32,118	25,201	890	3.7%	
その他	64,381	34,389	98,711	78,057	13,676	21.2%	
受注工事高合計	122,561	53,964	176,526	150,118	27,556	22.5%	
うち、直接受注	48,209	20,526	68,736	73,898	25,688	53.3%	大型の病院・工場・データセンター案件受注
直接比率(%)	39.3%	38.0%	38.9%	49.2%			
うち、官庁工事	19,952	6,357	26,309	25,836	5,884	29.5%	上記の病院案件受注による
官庁比率(%)	16.3%	11.8%	14.9%	17.2%			

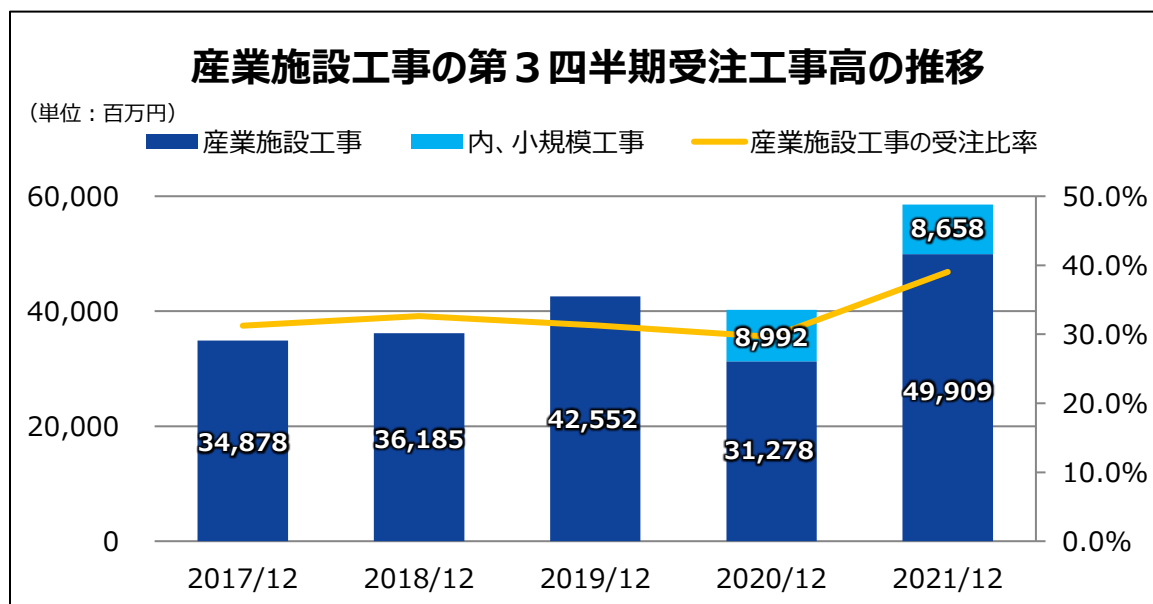
- リニューアル工事は、前期は主に新型コロナウイルス感染症の影響により減少しましたが、当期は工場の大・中規模案件の受注によりコロナ禍以前の受注水準に回復しました。
- 直接受注においても、大型の病院・工場・データセンター案件を受注し、また、大型の病院案件が官庁工事であったため、直接受注、官庁工事とも前期と比べ大幅に増加しました。

産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2021年3月期			2022年3月期	前年同期比		主な増減要因・特記事項
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率	
産業施設工事合計	40,269	25,380	65,649	58,567	18,297	45.4%	大型の工場、データセンター案件受注による
(受注比率%)	32.9%	47.0%	37.2%	39.0%			
受注工事高合計	122,561	53,965	176,526	150,118	27,556	22.5%	

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しております。



- 設備投資需要の回復を受け、特に大型の工場、データセンター案件の受注などにより前期比で増加となりました。

※当期より工事区分の見直しを行った結果、一部の小規模工事を産業施設工事に含めております。
なお前第3四半期(2020/12)についても区分の見直しを遡って適用した後の数値を表示しております。

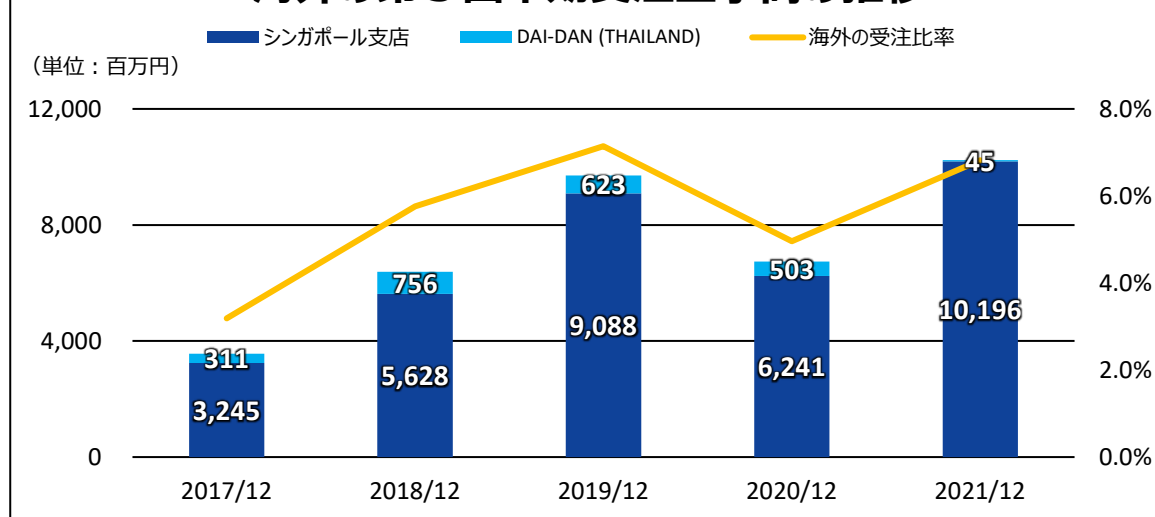
海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール支店とDAI-DAN（THAILAND）を中心に活動しています。
- 新たな海外拠点として、昨年度にDAI-DAN（VIETNAM）Co.,LTD.（ベトナム：ハノイ）、今年度にDAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.（シンガポール）を設立しました。

（単位：百万円）

	2021年3月期			2022年3月期	前年同期比		主な増減要因・特記事項
	第1～3四半期	第4四半期	通期	第1～3四半期	増減	増減率	
海外受注工事合計 （受注比率%）	6,743 5.5%	2,995 5.5%	9,738 5.5%	10,241 6.8%	3,497	51.9%	産業施設関連の受注が増加
受注工事高合計	122,561	53,965	176,526	150,118	27,556	22.5%	

海外の第3四半期受注工事高の推移

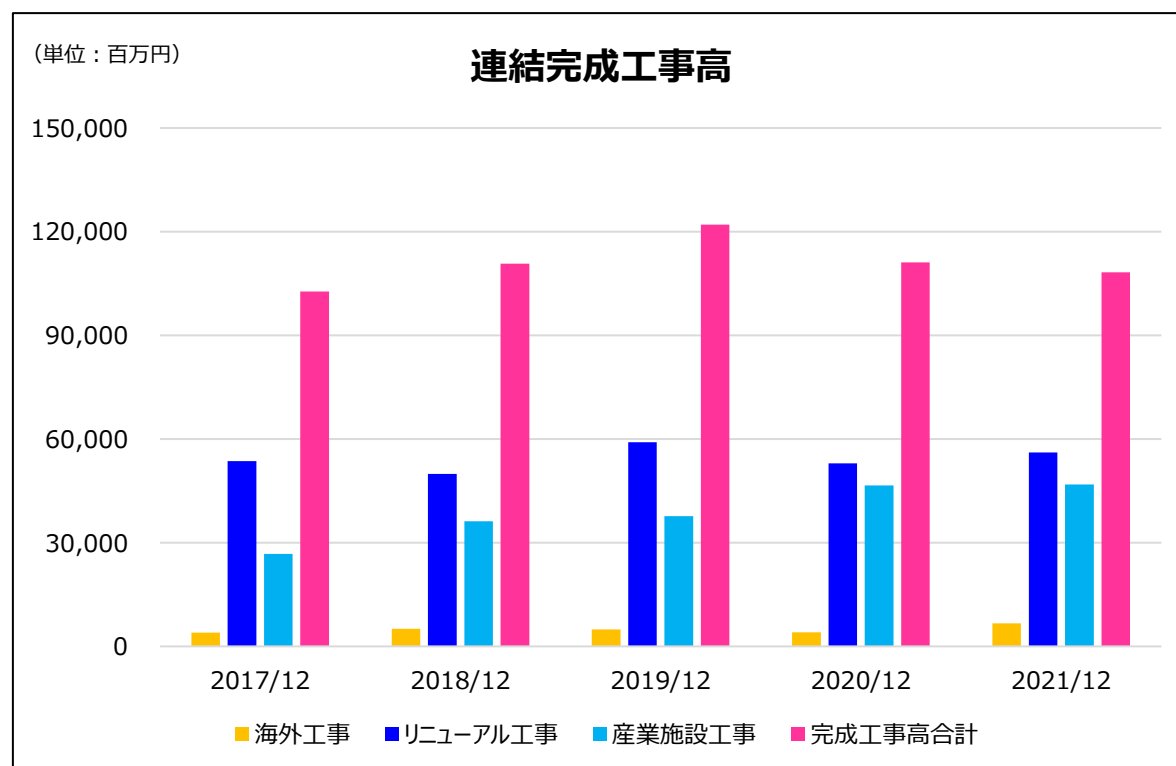


- シンガポールは、前期に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動規制が続いており、建設現場の運営に影響を与えています。しかしながら受注活動にはその影響が少なく、昨年と比べ受注工事高が大幅に増加しました。
- タイは、昨年受注した大型工事が、客先都合による中止見込みのための受注取消があったため、受注工事高が大きく減少しました。

(単位：百万円)

	2021年3月期第3四半期		2022年3月期第3四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	111,099	100.0%	108,257	100.0%	▲2,841	▲2.6%
うち（産業施設工事）	46,623	42.0%	46,869	43.3%	246	0.5%
（リニューアル工事）	52,989	47.7%	56,129	51.8%	3,139	5.9%
（海外工事）	4,100	3.7%	6,674	6.2%	2,573	62.8%

※産業施設工事、リニューアル工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

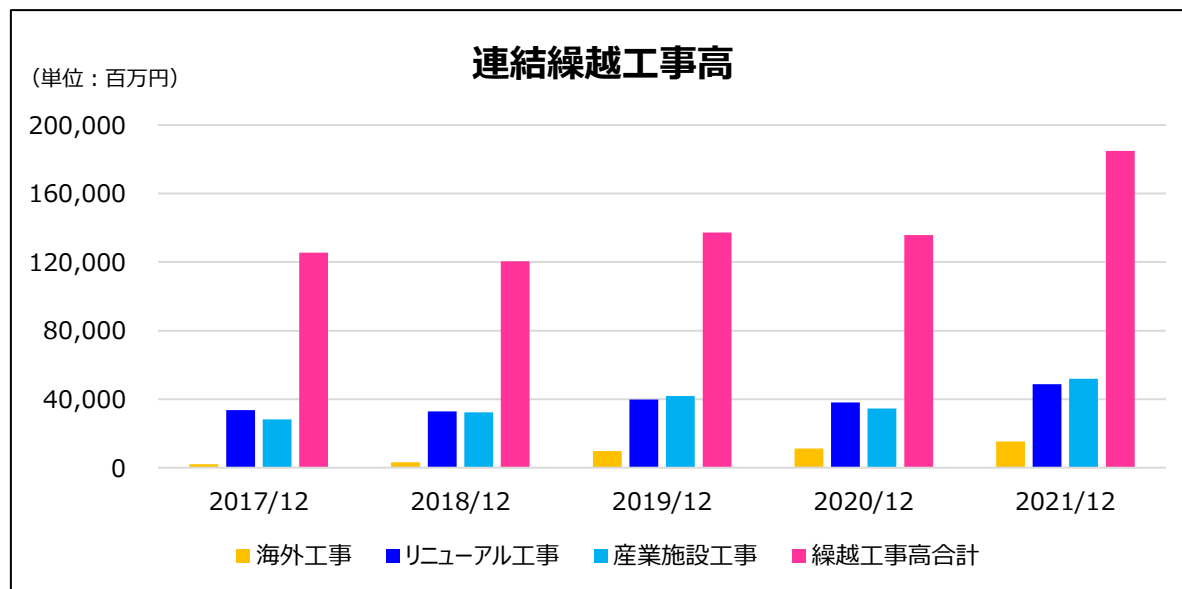


- 当期の完成工事高は、産業施設工事は微増、リニューアル工事および海外工事は増加しましたが、前期から繰り越した大型工事で当期に進捗する案件が少なく、全体としては完成工事高は微減となりました。
- 14ページ記載の通り繰越工事高は豊富にあり、第4四半期や来期の完成工事高に寄与する工事を抱えております。

(単位：百万円)

	2021年3月期第3四半期		2022年3月期第3四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	124,228	—	143,043	—	18,814	15.1%
受注工事高	122,561	—	150,118	—	27,556	22.5%
完成工事高	111,099	—	108,257	—	▲2,841	▲2.6%
繰越工事高	135,691	100.0%	184,904	100.0%	49,212	36.3%
うち（産業施設工事）	34,580	25.5%	51,953	28.1%	17,373	50.2%
（リニューアル工事）	38,156	28.1%	48,785	26.4%	10,629	27.9%
（海外工事）	11,195	8.3%	15,434	8.3%	4,238	37.9%
うち当期第4四半期 完成予定	37,387	—	47,447	—	10,060	26.9%

※産業施設工事、リニューアル工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 前期と比べて期首繰越工事高、受注工事高ともに増加し、完成工事高は大型工事の進捗が本格化せず微減、そのため繰越工事高は大きく増加しております。
- 当期は、過去5年間に於いて最も多い繰越工事高があり豊富な工事量を確保しております。

四半期ごとの実績状況

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期	増減	増減率
受注工事高	4～6月	36,167	44,698	8,531	23.6%
	7～9月	48,489	62,725	14,236	29.4%
	10～12月	37,906	42,695	4,790	12.6%
	4～12月	122,562	150,118	27,556	22.5%
完成工事高	4～6月	34,816	27,257	▲7,559	▲21.7%
	7～9月	37,918	38,523	605	1.6%
	10～12月	38,365	42,477	4,112	10.7%
	4～12月	111,099	108,257	▲2,841	▲2.6%
営業利益	4～6月	2,281	528	▲1,752	▲76.8%
	7～9月	2,789	2,240	▲549	▲19.7%
	10～12月	2,135	1,292	▲843	▲39.5%
	4～12月	7,205	4,060	▲3,145	▲43.6%

- 受注工事高は、4～6月、7～9月、10～12月すべて前期と比べて増加しております。
- 完成工事高は、4～6月は前期と比べて減少しておりますが、7～9月、10～12月では前期よりも増加、特に10～12月では10.7%増加し回復基調にあります。
- 営業利益は、4～6月、7～9月の前期比増減率を比較すると、▲76.8%から▲19.7%に減少率が縮小しましたが、完成工事の利益率低下に伴い10～12月は▲39.5%となりました。



**2022年3月期
第3四半期決算**

通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期				前期対比 通期		前回予想対比 通期	
	通期	前回予想 [通期]	第1～3四半期 (実績)	第4四半期	今回予想 [通期]	増減	増減率	増減	増減率
受注工事高	176,526	183,000	150,118	32,882	183,000	6,474	3.7%	—	—
完成工事高	157,712	168,000	108,257	53,743	162,000	4,288	2.7%	▲6,000	▲3.6%
完成工事総利益	21,521	22,000	13,562	6,938	20,500	▲1,021	▲4.7%	▲1,500	▲6.8%
完成工事総利益率(%)	13.6%	13.1%	12.5%	12.9%	12.7%	▲1.0%		▲0.4%	
営業利益	8,754	7,500	4,060	2,940	7,000	▲1,754	▲20.0%	▲500	▲6.7%
営業利益率(%)	5.6%	4.5%	3.8%	5.5%	4.3%	▲1.2%		▲0.1%	
経常利益	9,262	7,700	4,399	2,801	7,200	▲2,062	▲22.3%	▲500	▲6.5%
経常利益率(%)	5.9%	4.6%	4.1%	5.2%	4.4%	▲1.4%		▲0.1%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,318	5,200	3,059	1,941	5,000	▲1,318	▲20.9%	▲200	▲3.8%
当期純利益率(%)	4.0%	3.1%	2.8%	3.6%	3.1%	▲0.9%		▲0.0%	

業績予想の前提

- 2021年5月12日に発表した決算短信の業績予想から修正しております。
- 手持ち工事の進捗および工事利益率が期初の想定に至らないこと、一方、一般管理費の削減が見込まれることから、当初予想より上記の通りそれぞれ減少を見込んでおります。

株主還元に対する方針

- 利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めております。
- 中期経営計画における数値目標のとおり配当性向30%以上を配当方針としております。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	40.00	50.00	90.00	1,975	30.9%	3.0%
2021年3月期	45.00	45.00	90.00	1,949	30.8%	2.7%
2022年3月期 (期末は予想)	45.00	45.00	90.00	—	38.5%	—

自己株式取得について

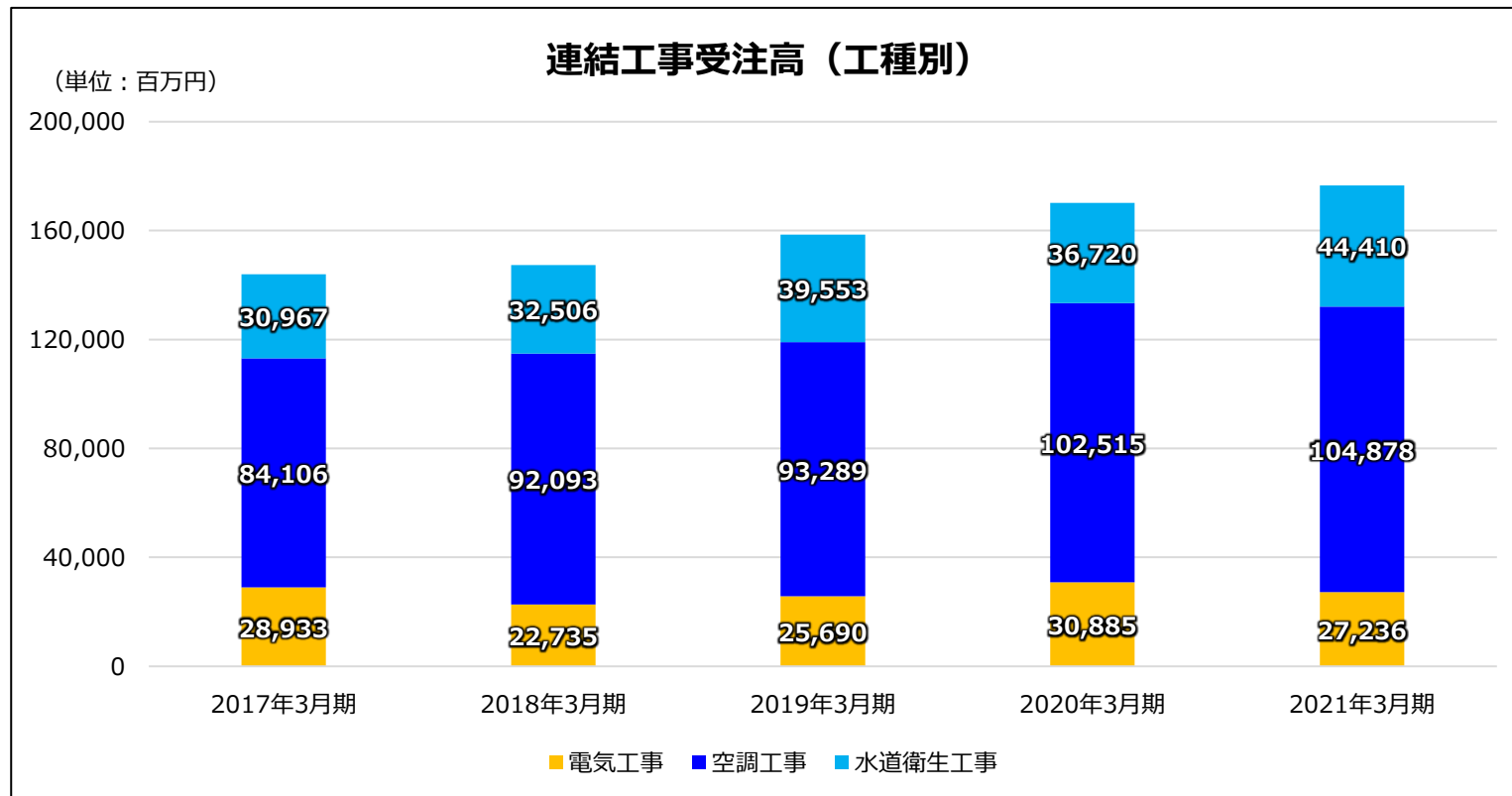
- 株主還元及び資本効率の向上を目的とし、適宜検討してまいります。

<参考>
DATA FILE
〔通期〕

連結受注工事高（工種別）〔通期〕

（単位：百万円）

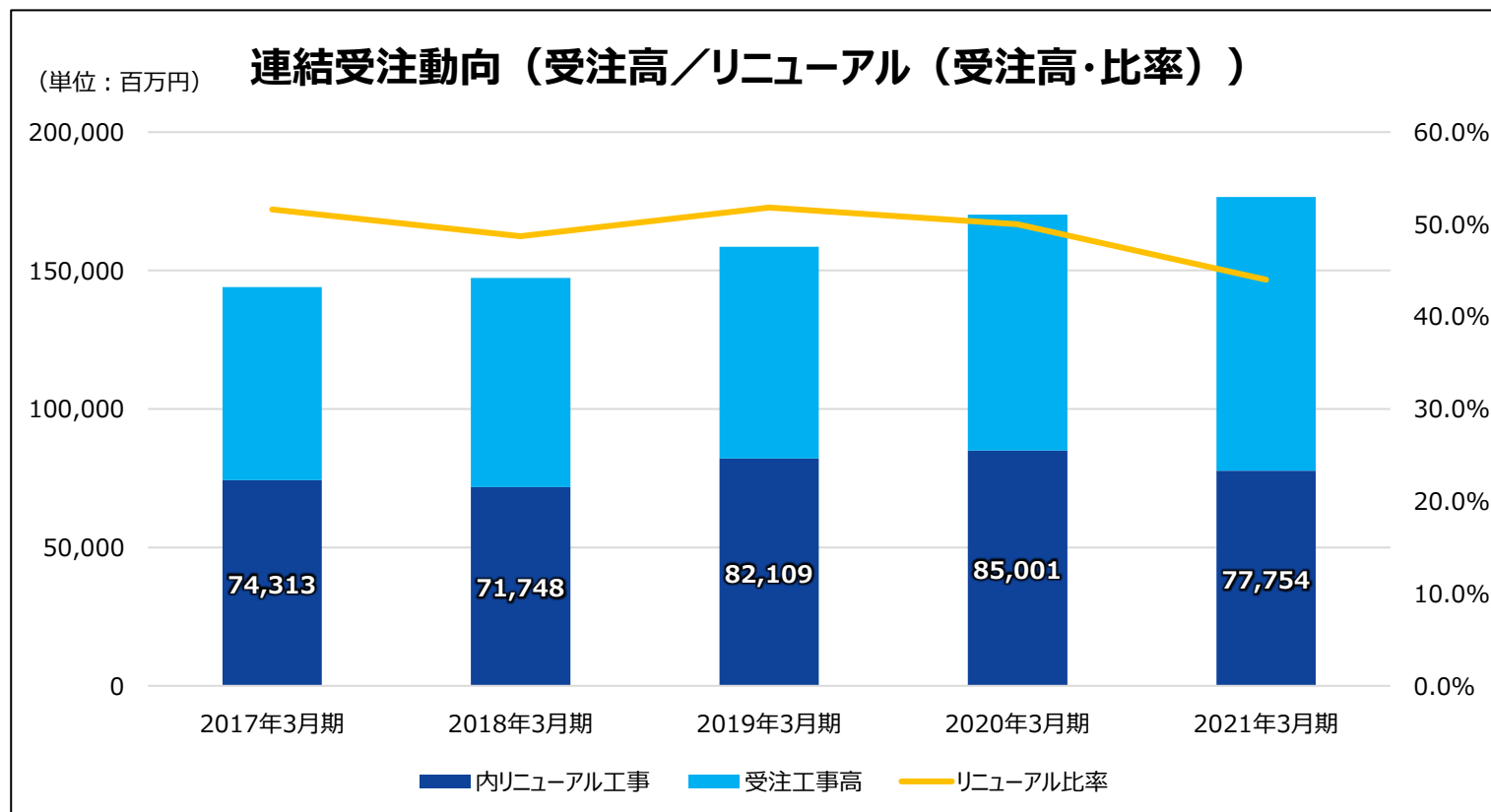
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
電気工事	28,933	22,735	25,690	30,885	27,236
空調工事	84,106	92,093	93,289	102,515	104,878
水道衛生工事	30,967	32,506	39,553	36,720	44,410
合計	144,007	147,335	158,533	170,121	176,526



連結受注動向（受注高／リニューアル）〔通期〕

（単位：百万円）

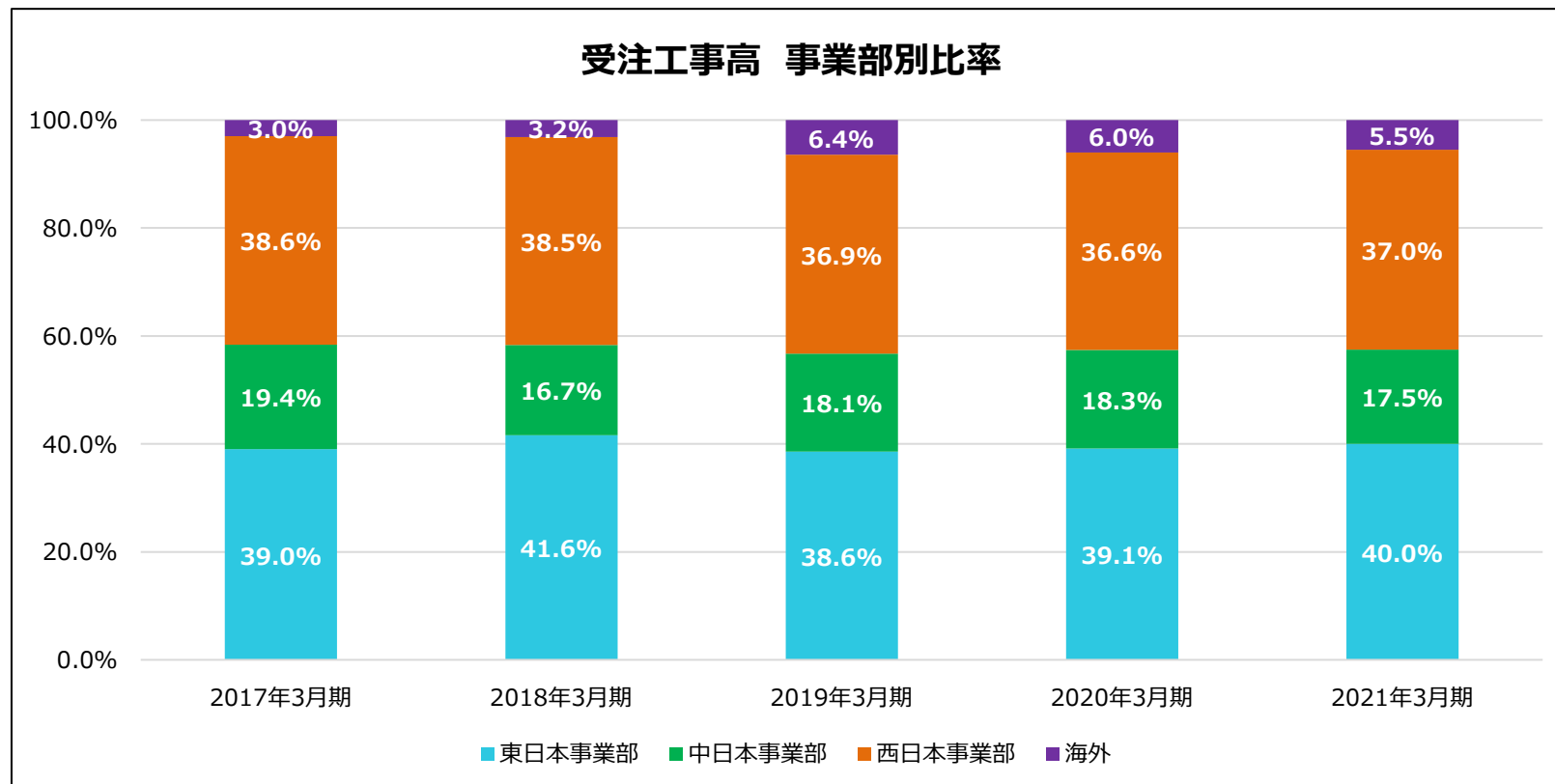
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注工事高	144,007	147,335	158,533	170,121	176,526
リニューアル工事	74,313	71,748	82,109	85,001	77,754
リニューアル比率	51.6%	48.7%	51.8%	50.0%	44.0%



連結事業部別受注工事高比率〔通期〕

受注工事高比率

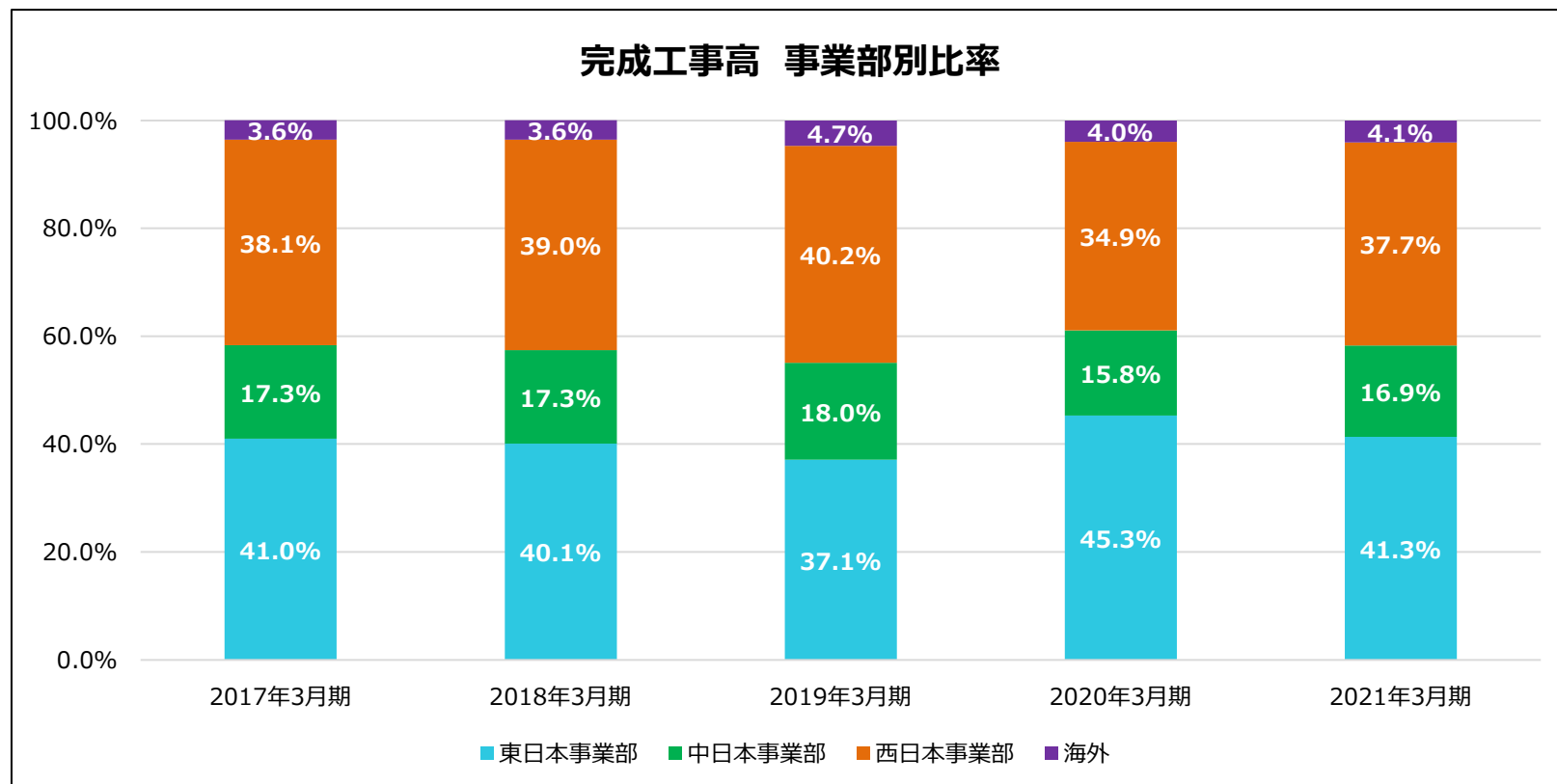
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
東日本事業部	39.0%	41.6%	38.6%	39.1%	40.0%
中日本事業部	19.4%	16.7%	18.1%	18.3%	17.5%
西日本事業部	38.6%	38.5%	36.9%	36.6%	37.0%
海外	3.0%	3.2%	6.4%	6.0%	5.5%



連結事業部別完成工事高比率〔通期〕

完成工事高比率

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
東日本事業部	41.0%	40.1%	37.1%	45.3%	41.3%
中日本事業部	17.3%	17.3%	18.0%	15.8%	16.9%
西日本事業部	38.1%	39.0%	40.2%	34.9%	37.7%
海外	3.6%	3.6%	4.7%	4.0%	4.1%



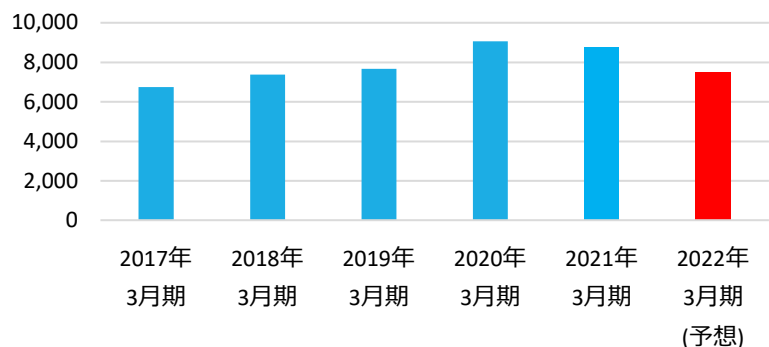
連結業績利益（営業／経常／当期）〔通期〕

（単位：百万円）

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)
営業利益	6,750	7,385	7,661	9,063	8,754	7,500
経常利益	6,939	7,674	8,057	9,282	9,262	7,700
当期純利益	4,638	4,638	5,109	6,399	6,318	5,200

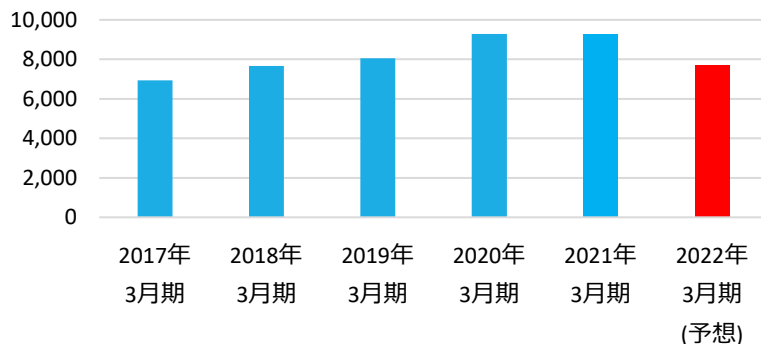
（単位：百万円）

営業利益



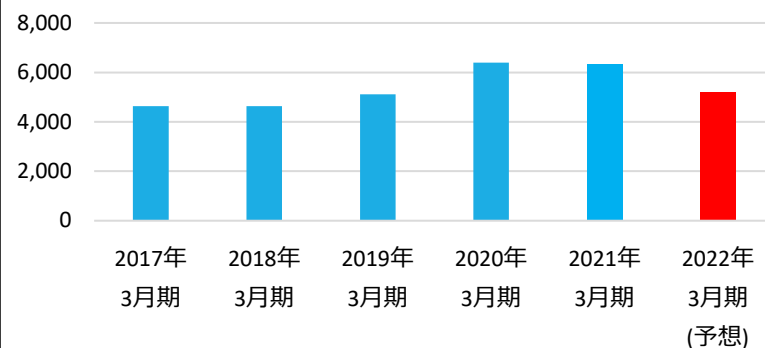
（単位：百万円）

経常利益



（単位：百万円）

当期純利益



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画室 広報・IR担当：電話 03-3261-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10